

政策 02 豊かな心と知性を育むまちづくり

施策 02 確かな学力を育む教育の推進

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿  
学習意欲をもって授業を受け、確かな学力が育成されています。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	指導要録の評定で全教科の評定が2以上である児童の割合(%) 【学校教育課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(R元)	(R02)	(R05)	
		91.3	90.5	89.4	94	☂ (低下)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が1.1ポイント低下した。苦手教科があるために全教科での評定は2以上にならないものの、その他の教科では学力が定着している児童も一定数いると分析する。					対前年度

指標	指導要録の評定で全教科の評定が3以上である生徒の割合(%) 【学校教育課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(R元)	(R02)	(R05)	
		46.6	46.1	42.2	65	☂ (低下)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が3.9ポイント低下した。苦手教科があるために、全教科での評定は3以上とならないものの、その他の教科では学力が定着している生徒も一定数いると分析する。					対前年度

指標	学習意欲がある児童の割合(%) 【学校教育課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(R元)	(R02)	(R05)	
		94.8	-	93.4	97	☂ (低下)
評価	H30年度(R元年度は数値未取得)の実績値に比べ、現状値が1.4ポイント低下した。教職員研修の実施により、多くの児童が活躍できる場を設定し自ら学習したいと思わせる授業を展開しているが、学習意欲の向上につながっていない児童が一定数いると分析する。					対前年度

指標	学習意欲がある生徒の割合(%) 【学校教育課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(R元)	(R02)	(R05)	
		85.3	-	88.9	90	☀ (向上)
評価	H30年度(R元年度は数値未取得)の実績値に比べ、現状値が3.6ポイント向上した。教職員研修により、多くの生徒が活躍できる場を設定し自ら学習したいと思わせる授業が展開できたことで、学習意欲の向上につながったものと分析する。					対前年度

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 学力の定着

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	授業が分かると答える児童の割合 (%) 【学校教育課】	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対基準値
		93.4	-	92.6	96	☔
評価	H30年度 (R元年度は数値未取得) の実績値に比べ、現状値が0.8ポイント低下した。教職員研修の実施により、わかりやすい授業を展開し多くの児童の学力が向上しているが、一方で授業を理解できていない児童が一定数いると分析する。					対前年度
		(低下)	(比較不可)	目標達成度	(---)	

## 基本事業01 学力の定着

指標	授業が分かると答える生徒の割合 (%) 【学校教育課】	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対基準値
		83.3	-	83.0	85	☔
評価	H30年度 (R元年度は数値未取得) の実績値に比べ、現状値が0.3ポイント低下した。教職員研修の実施により、わかりやすい授業を展開し多くの生徒の学力が向上しているが、一方で授業を理解できていない生徒が一定数いると分析する。					対前年度
		(低下)	(比較不可)	目標達成度	(---)	

## 基本事業02 個に応じたきめ細やかな指導の充実

指標	少人数指導授業を受けている児童の割合 (%) 【学校教育課】	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対基準値
		94.8	100	100	100	☀
評価	目標を達成している。これは、小学校1、2年生は少人数学級であるため、全員が全教科を少人数授業を受けており、3、4年生は算数及び外国語活動、5、6年生は算数及び外国語(英語)の授業で少人数指導を受けていることによる。					対前年度
		(向上)	☀ (向上)	目標達成度	🏰 (達成)	

## 基本事業02 個に応じたきめ細やかな指導の充実

指標	少人数指導授業を受けている生徒の割合 (%) 【学校教育課】	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対基準値
		100	100	100	100	☀
評価	目標値を達成している。これは、ALTを配置した中学校全学年の英語及び2年生の数学の授業で、少人数指導を受けていることによる。					対前年度
		(向上)	☀ (向上)	目標達成度	🏰 (達成)	

**基本事業02 個に応じたきめ細やかな指導の充実**

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	特別な支援を必要とする児童生徒に対する補助員等の対応率(%)	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【学校教育課】	100	100	100	100	(---)
評価	目標値を達成している。これは、特別な支援を必要とする児童生徒に対し、学校運営支援員、学校運営補助員の配置及び看護師を派遣して対応していることによる。					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 🏰 (達成)

**基本事業03 特色ある学校づくりの推進**

指標	地域の特性を活かした特色ある学校づくりが実施されている割合(%)	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【学校教育課】	100	100	100	100	☀ (向上)
評価	目標値を達成している。これは、各学校で創意工夫を活かした活動が行われており、特色ある学校づくりが進んでいることによる。					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 🏰 (達成)

**基本事業04 教職員の資質向上**

指標	教職員の研修受講割合(%)	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【学校教育課】	100	100	100	100	☀ (向上)
評価	目標値を達成している。これは、研修対象教職員全員が研修を受講していることによる。					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 🏰 (達成)

**基本事業04 教職員の資質向上**

指標	校内現職研修実施回数(回)	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【学校教育課】	14.9	15.2	14.8	20	☔ (低下)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が0.4ポイント低下した。これは、新型コロナウイルス感染防止のため、計画した研修ができなかったことによるものである。なお、研修にあたっては、研修に参加する教職員の負担等を考慮しながら、各校において効果的な研修を実施している。					対 前年度 ☔ (低下) 目 標 達成度 (---)

**基本事業04 教職員の資質向上**

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	研修効果があったと感じる教職員の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【学校教育課】	93.2	96.3	94.3	95	☀ (向上)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が2.0ポイント低下した。これは、内容に具体性がなかった研修があったことによるものである。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						(---)

**基本事業05 教育環境の整備**

指標	大規模改修工事を完了した学校数の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【教育政策課】	33	33	42	50	☀ (向上)
評価	昨年度の実績値に比べ、9ポイント増加した。これは、昨年度をもって大規模改修工事を完了した学校が1校増加したことによるものである。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						(---)

**基本事業05 教育環境の整備**

指標	施設維持管理上の不具合による教育支障件数（件）	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【教育政策課】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	前年度同様に実績値（R2）は目標値に達している。これは、施設修繕及び保守を実施することで、適切な施設維持管理に努め、教育支障件数が無かったことが要因として考えられる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

**基本事業05 教育環境の整備**

指標	通学路上の危険箇所に対する要望への対応率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R元)	実績値 (R02)	目標値 (R05)	対 基準値
	【学校教育課】	79.5	81.8	67.4	86	☂ (低下)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が14.4ポイント低下した。これは、通学路上の危険箇所に対する要望の中には、道路状況等の要因により対応が難しい箇所があるため対応が難しい側面があったことによるものである。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達 成 度
						(---)